

千田学区まちづくり推進委員会

委員長 弓井 英志

（問合せ先） 084-955-0023（千田交流館）

事業内容

- (1) ふれあい教室（子どもの居場所づくり）
夏休み子ども教室（6回・77人）・おもちゃサロン（月1回・親子参加延べ82人）
子ども文庫（月2回・親子参加延べ160人）・三世代ふれあい教室（12月6日・47人）
- (2) 安全なまちづくり
自主防災訓練（2月15日）参加者：95人
防犯・見守り活動（通年）
下校時の子ども見守り活動・子ども110番の家・防犯夜間見せるパトロール活動
災害時要支援者への取組（通年）
- (3) ふるさと盆踊り大会（8月2日）参加者：約2,500人
- (4) 学区民スポーツ祭（10月26日） ※雨天の為、中止
- (5) ふれあい文化祭・千田学区敬老会 合同開催（11月8日）参加者：約1,700人
- (6) とんど祭り（1月12日）参加者：約1,000人
- (7) 農業体験（通年） 千田小・せんだの森（認定こども園）と農園ボランティアによる稲作・野菜作り
- (8) 千塚おどり（通年）次世代への伝承活動（千田小4年生・盈進学園応援部への指導など）
- (9) 環境美化活動 学区一斉清掃（年2回）、河川美化活動、ごみ減量化活動（通年）など
- (10) 健康・生きがいづくり
ふれあい楽習（4回・76人）
料理教室（男の料理教室、健康料理教室、食推料理教室）など（23回・延べ263人）
- (11) コミュニティ育成活動（通年）
- (12) まちづくり運営事業（通年）

成果

ふるさと盆踊り大会では、若い世代のアイデアを取り入れ、多数が踊りに参加し盛り上がった。各行事へのキッチンカー導入などが、役員負担の軽減と賑わいづくりにつながった。子ども向け講座の広報・募集にオンラインを取り入れ、若い世代の保護者に好評だった。

課題

町内会未加入世帯の増加や高齢化などで、地域コミュニティ活動の維持・継続が難しくなっている。役員・ボランティアが高齢化し、次世代の担い手が不足し、役員の負担感が増している。若い世代に参加してもらい、担い手を育成していくことが課題となっている。

課題解決にむけて

各事業にかかわる役員の負担軽減、若い世代を含む幅広い地域住民への情報発信のためのデジタル化事業の見直し、スリム化などを検討していくことが必要となっている。

心豊かな子どもたちの成長を願って…17年目の農業体験

2008年(平成20年)から食育や自然の恵みを学び、心豊かでたくましい子を育てたいと野菜作りを開始。



今年度の畑では、千田小児童・認定こども園せんだの森の園児たちが、農園ボランティアの指導・協力のもとジャガイモ、さつまいもの植付や収穫を行いました。



2012年（平成24年）から稲作（もち米）を開始。収穫後、もち米や稲わらは、子どもたちの「もちつき体験」や、学区とんど祭りの「とんど」「ぜんざい」の材料として使用しています。

作業中の畑や田んぼは、いつも子どもたちの笑顔や歓声であふれています。

